

社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク 2020年度 事業報告書(案)

<実施期間>

2020年4月1日～2021年3月31日

<2020年度の方針>

2008年の設立以来、13年目を迎える本年度は、国内において SDGs への関心が高まった半面、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、東京オリンピック・パラリンピックも開催が延期されるなど社会的に大きな影響を与えつつある。また、大阪万博の開催に向けた準備が着手されるタイミングであることから、SDGs の達成や持続可能な成長の実現に向けた本質的な取り組みを促すために、多様な主体による連携を、特に地域において推進できるよう、働きかける。

(1)NPO/NGO が自ら取り組む社会的責任(以下、SR)の普及

NPO/NGO が自らの組織で取り組む SR を推進するため、具体的な取り組みを紹介し共有する機会を広げる。

(2)他セクターとの協働による SR の普及

さまざまなセクターと連携して SR への取り組みを促進するべく、NPO/NGO の取り組みや成果を他セクターと共有し、また他セクターの取り組みからも学ぶとともに、他セクターの SR への取り組みを促す NPO/NGO を育成・支援する。

(3)社会的影響力の大きな課題に対するマルチステークホルダープロセスの推進とアドボカシー(政策提言)の強化

SDGs やオリンピック・パラリンピック 2020 東京大会をはじめとする社会的影響力の大きな課題に対して、マルチステークホルダープロセスにより社会的責任が果たされることに尽力するとともに、その課題の重要性、具体策を提言するとともに、地球環境や貧困などの国際的な課題へのアプローチにおいても SR への配慮がなされること、またその担い手自身が社会的責任を果たすことの必要性を訴える。

上記方針を実現することを目的としつつ、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する必要があることから、下記のプロジェクトを中心として、フォーラムやセミナーなどの開催は半年間程度見送るとともに、財政的にも、今年度の会費徴収については見合わせることにする。

<2020年度の事業報告>

(1)社会責任に関連する規格の策定・普及(主担当幹事団体: 難民を助ける会)

1.社会的責任に関する国際規格 ISO26000 の定期見直しにかかる投票が実施された。NN ネットとして会員団体に呼びかけ NGO セクターの意見を集約した。寄せられた意見を踏まえて、NGO としては「改訂」の立場を表明した。一方、他セクターの立場は「現状維持」が多数を占めたこともあり、日本の投票ポジションは「現状維持」となった。

2.「ISO26000 Stakeholders Global Network(SGN)」の NGO メンバーとして、NN ネット代表協議者(堀江)が参加している。同ネットワークののオンライン会合に堀江が参加した(4月30日、7月28日、10月27日、2021年1月26日)。

3. ISO26000の発行から10年を記念し、同規格の現在とこれからについて、企業、労働、消費者、NGOの各セクターから策定にあたった方、実践している方を招いたフォーラムを開催し、33名の方にご参加いただきました。

日時:2020年11月10日(火)18:00~20:00

場所:オンライン

テーマおよび登壇者:

基調講演「ISO26000の十年と今後の国際的な動向について」

熊谷謙一氏(日本ILO協議会 企画委員)

報告「ISO26000のこれまでの取り組みと今後について」

佐藤亜紀氏(株式会社日立製作所 サステナビリティ推進本部 企画部長)

竹村久氏(大阪いずみ市民生活協同組合 総合マネジメント推進室室長)

熊谷謙一氏(日本ILO協議会 企画委員)

堀江良彰(AAR Japan(認定特定非営利活動法人 難民を助ける会))

ファシリテーター:川北秀人(IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所])

開催報告記事:<https://sr-nn.net/archives/5712>

3.国内の他のステークホルダー(SJN:ステークホルダー・ジャパン・ネットワークメンバー)とのオンラインでの懇談会(7月10日および2021年2月26日)に参加し、社会的責任に関し意見交換を行った。なお、新型コロナウイルスの影響により、SJNによるISO26000発行10周年を記念するイベントは中止、北京で予定されていたSGN主催イベントは2021年6月に延期となった。

4.ハンドブック『これからのSR—社会的責任から社会的信頼へ』、『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』を引き続きホームページを通じて販売した。

(2)公共調達をはじめとする調達における社会責任対応推進(主担当幹事団体:IIHOE)

1. COVID-19の影響を受けた地域の中堅・中小企業に対する支援施策としても必要性が高まった、環境配慮調達・社会責任調達について、実践者や推進者から事例などをご紹介いただくセミナーを開催し、約30名の方にご参加いただきました。

日時:2020年9月15日(火)18:00~20:00

場所:オンライン

テーマおよび登壇者:

「公共団体の調達マネジメントと企業のサステナビリティ経営」

深津学治氏(グリーン購入ネットワーク 理事・事務局長)

「時代の転換点における印刷業界の社会責任への取り組みと、調達への働きかけ」

江森克治氏(全日本印刷工業組合連合会 常務理事・SR調達研究部会部会長)

「公共調達を地域の持続可能性から考える～国内外の動向と自治体の取り組み～」

長谷川雅子(一般財団法人CSOネットワーク 理事・事務局長)

ディスカッション「地域の持続可能性向上につながる中小企業支援とは」

進行:川北秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者)

開催報告記事:<https://sr-nn.net/archives/5580>

2. 国連人権委員会で2010年に採択された「ビジネスと人権に関する指導原則」にもとづく日本の行動計

画(National Action Plan:NAP)が2020年10月によろやく公表されたことを受けて、その策定過程や内容、今後の課題について伺い、企業やNPO/NGOが進めるべき取り組みについて議論するセミナーを開催し、約30名の方にご参加いただいた。

日時:2021年1月12日(火)18:00~20:00

開催形式:オンライン(zoom ミーティング)

テーマおよび登壇者

「日本の行動計画(NAP)の策定過程、主な内容と課題」

松岡秀紀氏(一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)特任研究員)

「日本の行動計画(NAP)に、企業とNPO/NGOはどう取り組みを進めるか」

佐藤暁子氏(認定特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ナウ 事務局次長)

登壇者による討論 進行:川北秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者)

開催報告記事:<https://sr-nn.net/archives/5735>

3. 中央省庁等による公共調達への社会的責任・持続可能性の導入調査については、実施しなかった。

(3)NPO/NGOの社会責任(NSR)への取り組み推進(主担当幹事団体:NPOサポートセンター、IIHOE)

1. NPO/NGOの社会責任(NSR)に関する啓発として、「NPO/NGOにおけるリモートワークと働き方 — 社会責任(NSR)の観点から—」をテーマに、NPO/NGOがどのように環境の変化に対応して活動を継続しているのか、またSR的な観点での取り組みや課題などについて、事例発表と討論、質疑応答を行い、約20人の方にご参加いただいた。

日時:2021年3月9日(火)18:00~20:00

場所:オンライン

テーマおよび登壇者:

「リモートでの海外事業運営と組織の対応について」

吉澤 有紀氏(認定特定非営利活動法人難民を助ける会 広報コミュニケーション部長)

「リモートワークと拠点運営の両立を目指して」

小堀 悠氏(特定非営利活動法人NPOサポートセンター 常務理事・事務局長)

「個人のチカラを鮮やかに発色させる組織力」

中桐 昌子氏(認定特定非営利活動法人マドレボニータ 共同代表理事・産後セルフケアインストラクター)

ファシリテーター:川北秀人(IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所])

開催報告記事:★作成中

(4)SDGsと社会的責任(主担当幹事団体:難民を助ける会)

1. SDG 市民社会ネットワークの社会的責任ユニットに参加した。同ネットワークが発出したCOVID-19に関する声明(8月12日、10月21日、12月15日)の作成等に関し、社会的責任の観点からコメントを加えた。

2.北海道国際交流センター(HIF)主催の「Hakodate MARCHE SDGs Vol.2」(9月26日・27日開催)のステージ企画「パートナーシップで進めるSDGs:NNネット川北秀人さんと語ろう」(26日13:00-14:00)に企画協力し、函館市内などでの取り組み事例紹介に続いて、パートナーシップの意義や課題についてコメントした(会場での聴衆とオンライン参加者 計約50名)。

2)情報発信・広報事業

1. SR フォーラム、SR セミナーを中心とした情報発信

NN ネットのウェブサイト、メーリングリストを通じ、上記の SR フォーラム(1回)、SR セミナー(3回)、共催イベント(1回)の広報、報告を行った。なお、Facebook での広報については、ログインが困難な状況が続き、活用できておらず、改善を試みている。

2. ウェブサイト不具合についてのお詫びと対応

NN ネットのウェブサイトについて、20年夏ごろに、閲覧が不可能となったこと、その原因は使用しているサーバーの PHP と WordPress のバージョン更新が滞っていたためと判明したことから、幹事会での協議を経て、補修作業を依頼し、9月中旬までに復旧した。会員をはじめとするみなさまには、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

3. ハンドブックを活用した啓発活動

北海道国際交流センター主催の「Hakodate MARCHE SDGs Vol.2」のステージ企画「パートナーシップで進めるSDGs: NN ネット川北秀人さんと語ろう」で、ハンドブック『これからの SR—社会的責任から社会的信頼へ』策定に関わった NPO が読み解く ISO26000』各 40 冊を頒布した。また、ホームページにて販売を行い、3 名の方に計 32 冊をご購入いただいた。

3) その他

1. 社会的責任に関する円卓会議(以下、SR 円卓会議)への参画と推進

同会議に関連する協議や会議は行われなかった。

2020年度 組織運営(事務局業務)報告

<実施期間>

2020年4月1日～2021年3月31日

<業務報告>

1. 会議等の開催

(1)第13回 通常総会の開催

日 時:2020年5月26日(火) 13:00～14:30

場 所:オンライン(zoomミーティング)

議 題:

- ・2019年度事業報告・決算の承認(第1号議案)
- ・2019年度事業計画・予算の承認(第2号議案)
- ・NNネットからの代表協議者の選出(第3号議案)
- ・2020-2021年度幹事団体の選出(第4号議案)
- ・2020-2021年度監事の選出(第5号議案)
- ・(総会閉会后)意見交換「NNネットの今後の進め方について」

(2)幹事会の開催

- ・第130回幹事会 2020年4月14日(火)14:30～16:00 @zoom ミーティング
- ・第131回幹事会 2020年5月26日(火)14:30～16:00 @zoom ミーティング
- ・第132回幹事会 2020年7月14日(火)14:30～16:00 @zoom ミーティング
- ・第133回幹事会 2020年9月15日(火)14:30～16:00 @zoom ミーティング
- ・第134回幹事会 2020年11月10日(火)14:30～16:00 @zoom ミーティング
- ・第135回幹事会 2021年1月12日(火)14:30～16:00 @zoom ミーティング
- ・第136回幹事会 2021年2月10日(火)14:30～16:00 @zoom ミーティング
- ・第137回幹事会 2021年3月9日(火)14:30～16:00 @zoom ミーティング

2. 事務局業務の引き継ぎ・実施

2019年度から事務局業務を下記の5つに分割し、各担当幹事が中心となって引き継ぎ、実施した。

- ・会員管理(担当:HIF、NPOサポートセンター)
- ・会計(NPOサポートセンター)
- ・広報(NPOサポートセンター、IIHOE)
- ・在庫管理(難民を助ける会)
- ・幹事会および総会準備に係る事務(IIHOE)

2. 会員管理(担当:HIF、NPOサポートセンター)

(1)会員へのフォローアップ

- ・会員の入会、継続、休会対応等の業務をおこなった
- ・会員メーリングリストの運営と管理
- ・会員に対して、幹事会終了後、幹事会議事抄録を配信
(会員MLへの投稿、ウェブサイトへの掲出と併せて、持ち回りの前回の議長団体が担当。)

(2)会員データベース管理

- ・会員情報の整理と管理

3. 会計(担当:NPOサポートセンター)

(1)日常的な会計

・管理ルールに従い、入金・支払い・精算等の手続きおよび記録をおこなった。

(2)資金管理と検査

・預金などの日常の管理状況を検査する業務をおこなった。

・決算書の作成を行い、報告した。

・監事による監査をおこなった。

4. 広報(担当:NPOサポートセンター、IIHOE)

(1)ウェブサイト管理・運営に関する業務

・ウェブサイトの管理・運営を行う。

・外部からの代表アドレス宛ての問合せに対応する。

5. 在庫管理(担当:難民を助ける会)

(1)ハンドブックの在庫管理

・『これからのSR—社会的責任から社会的信頼へ』、『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』の在庫の管理を行う。

6. 幹事会および総会準備に係る事務(担当:IIHOE)

(1)幹事会開催準備、報告

・幹事会開催の日程調整等

(2020年度の幹事会議事次第作成は持ち回りの議長団体が担当し、議事録作成も持ち回りで担当)

(2)総会開催準備

・総会開催にかかる準備、資料作成等

以上